

岐阜大学技術報告集に寄せて

岐阜大学工学部 村井利昭

第20回を迎えます岐阜大学技術報告会にたくさんの方々がお集まりいただき有難うございます。

四半世紀ほど前、工学部の技術職員の方々がこの報告会を、始められました。当時は技官という名称だった技術職員方々は、基本的には、ある先生の研究室に所属してその先生の研究だけを支援をしていました。なかなか研究室の枠をこえることが簡単ではなくて、高い技術力を持っているにも関わらず、表に出ることはありませんでした。「それではもったいない」ということで、技官の方々の技術の公開と技術をさらにアップさせることが始まったかと思います。

それから十数年を経たこの報告会では、それぞれの技術職員の方が持つておられるスキルをベースにした、教育や研究の支援、事故を未然に防ぐ安全対応・対策、さらには工学部や全学の環境保全についての取り組みなどが紹介されます。またお互いの得意分野が何であるかも共有することができます。始まった当初は小さな取組みだったのが、全学の報告会として拡大することになりました。毎年様々な観点からの発表、さらに岐阜大学のみならず、今回も、静岡大学、名古屋工業大学、名古屋大学からお越しいただき発表していただけるように、一大学に止まらない、報告会になってきました。

来年度には岐阜大学と名古屋大学との法人統合により東海国立大学機構が発足します。これをさらなる契機として、この報告会が、人的交流をベースとした技術交流の場となり、新技術の創出の可能性も切り開く機会となることを祈っております。